

赤星鉄馬関連資料（啓明会）

1. 概要

「赤星鉄馬 消えた富豪」（中央公論新社）の著者である与那原恵氏から、「赤星家親族から鉄馬に関する資料を預かっており、保存等については一任されている。武蔵野市の方針によっては保存・活用することも検討している。」と相談があった。

2. 資料について

学術財団「啓明会」に関する研究助成の申請書、評議会議事録、会計報告など（ダンボール3箱程度）

3. 与那原氏の意向

- (1)国会図書館への寄贈が最適と考えているが、旧赤星鉄馬邸の利活用において、赤星鉄馬を紹介するコーナーを設ける意向があれば、武蔵野市に預けることも検討したい。
- (2)「啓明会」に関するまとまった資料は、分散せずに1か所に預けたい。
- (3)研究等のため原本で閲覧したい人はだれでも閲覧できるようにしたい。
- (4)原本は適切な環境に保存した上で、デジタル化したものを展示・活用する方法もよい。

4. 市が原本を保存する場合の課題

- (1)旧赤星邸に保存する場合、収蔵庫とするための相応の改修が必要
- (2)ふるさと歴史館に保存する場合、都営住宅の一部を改修し使用しているためスペースに余裕がなく、また、博物館収蔵庫として温湿度管理は不十分であり劣化させずに長期間保存することが困難
- (3)どちらに保存しても、適宜閲覧の対応を行う職員の配置が必要

5. 方向性（案）

紙の原本を保存することは課題があるため、国会図書館へ寄贈していただき、デジタル写真等のデータを旧赤星邸で紹介する。

